



県下太鼓打競技大会 横綱大会13年振りの開催



11

2025
(令和7年)

No.243

県下太鼓打競技大会とは

昭和6年から高浜青壮年団が主催する県内最古の太鼓打競技大会として今も伝統を受け継いでいます。

大バイ・小バイの2人1組で、迫力ある演奏を繰り広げ、毎年厳正なる審査のもと、最高位の大関を決定します。

今年は、9月15日(月)に「第90回県下太鼓打競技大会」があり、過去10大会の大関の中から横綱を決める「第8回横綱大会」も開催されました。(関連: 4-5、20ページ)

令和 7 年第 3 回町議会定例会で、令和 6 年度の一般会計・特別会計決算が認定されました。

一般会計では、歳入が 318 億 3,603 万円(前年度比 107.5%増)、歳出が 289 億 7,238 万円(前年度比 102.9%増)となりました。

災害ごみ処理や公費解体など、能登半島地震の復旧関係事業により、前年度の 2 倍を超える決算規模となっています。

決算報告

企画財政課 ☎ 32-9331

一般会計の 歳入

318 億 3,603 万円
(前年度比 164 億 9,445 万円の増加)

町税	39億3,948万円(12.4%)
地方譲与税・交付金	9億652万円(2.8%)
地方交付税	56億6,114万円(17.8%)
分担金および負担金	3,631万円(0.1%)
国庫支出金	84億1,642万円(26.4%)
県支出金	25億7,642万円(8.1%)
繰入金	12億7,817万円(4.0%)
繰越金	10億5,947万円(3.3%)
諸収入	6億8,776万円(2.2%)
町債	66億5,350万円(20.9%)
その他	6億2,084万円(2.0%)

一般会計の 歳出

289 億 7,238 万円
(前年度比 146 億 9,027 万円の増加)

総務費	36億5,448万円(12.6%)
民生費	56億8,175万円(19.6%)
衛生費	130億756万円(44.9%)
労働費	3,257万円(0.1%)
農林水産業費	5億7,459万円(2.0%)
商工費	5億117万円(1.7%)
土木費	11億1,245万円(3.9%)
消防費	4億2,747万円(1.5%)
教育費	9億8,773万円(3.4%)
災害復旧費	17億4,258万円(6.0%)
公債費	11億3,477万円(3.9%)
議会費	1億1,526万円(0.4%)

用語解説

町税…皆さんに納めて頂いた税金。

地方譲与税…国が徴収する税金の一部が一定の基準により町に譲与されるお金。

地方交付税…国が徴収する税金の中から町の財政需要に応じて交付されるお金。

分担金・負担金…町で行う特定の事業により特別の利益を受ける人から、その受益を限度として徴収するもの(例：保育所の保育料など)

国庫支出金…町が法令に基づき実施しなければならない事務や国と相互に利害関係のある事業などに対して、国が負担すべきものの総称。(負担金・補助金など)

県支出金…特定の行政目的をもって、特定の事務・事業の全部または一部に充てるために県から支出されるお金。

繰入金…他の会計や基金から収入として繰り入れる資金のこと。

諸収入…特定の歳入のための科目ではなく他の収入科目に含まれない収入をまとめた科目。

町債…大きな事業を行うために国や県、金融機関などから借り入れるお金。

令和 6 年度 会計別決算状況

区 分	歳入額	歳出額	差引額
一 般 会 計	318億3,603万円	289億7,238万円	28億6,365万円
国 民 健 康 保 険	26億2,913万円	26億2,564万円	349万円
後 期 高 齢 者 医 療	3億7,275万円	3億7,273万円	2万円
介 護 保 険	32億8,259万円	32億7,469万円	790万円
診 療 所 事 業	1億7,939万円	1億7,939万円	0円
水道事業会計・収益的	9億7,893万円	5億8,805万円	3億9,088万円
水道事業会計・資本的	1億9,248万円	3億4,514万円	△1億5,266万円
下水道事業会計・収益的	10億5,907万円	10億2,022万円	3,885万円
下水道事業会計・資本的	12億330万円	17億8,661万円	△5億8,331万円
病院事業会計・収益的	10億5,513万円	13億1,555万円	△2億6,042万円
病院事業会計・資本的	2億3,655万円	4億3,878万円	△2億223万円

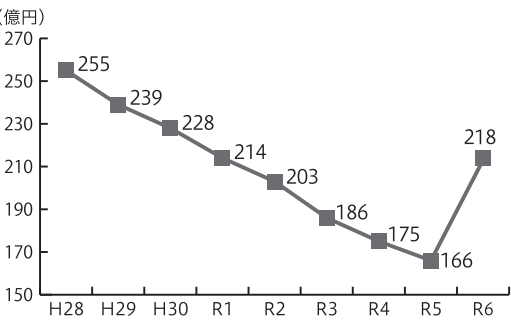
▶町の財産

基金	107億 6,186万円 (うち一般会計 105億8,191万円)
有価証券	656万円
出資金	3億8,159万円

▶町が借りているお金(全会計)

区分	現在高
一般会計	116億1,247万円
特別会計等	101億7,157万円
合計	217億8,404万円

▶町債(借入金残高)の状況(全会計)



令和6年度に実施した主な事業

●災害救助費(地震分)

21億5,144万円



仮設店舗

- 災害対策本部経費 …2億4,769万円
- 被災者生活再建支援金支給事業 …2億6,875万円
- 住宅応急修理経費 …6億6,206万円
- 仮設住宅に係る経費 …2億4,498万円

●令和6年能登半島地震災害復旧費

17億2,573万円



復旧したとき地域福祉センター

- 土木施設(道路、河川など) …4億3,096万円
- 農林水産業施設(農地、農業施設など) …8億4,749万円
- 福祉施設 など …1億1,637万円

●令和6年能登半島地震災害廃棄物処理事業

114億9,084万円



災害ごみ仮置場

●その他通常事業

- 定住促進住宅地整備事業 …1,584万円
- 世界一長いベンチ改修事業 …1,549万円

町民1人当たりの
決算額 (一般会計)

※令和7年1月1日の人口17,607人で算出
※()は、前年度の数値

町税収入

223,745円
(224,668円)

歳出

1,645,504円
(782,367円)

基金残高
(貯金)

601,006円
(481,006円)

町債残高
(借金)

659,537円
(332,254円)

健全化判断比率 および
資金不足比率の公表

自治体の財政が健全かどうか判断するため、健全化判断比率および資金不足比率を公表することが義務付けられています。令和5年度決算に基づいて算定された志賀町の比率は、下表のとおり健全化基準を下回りました。赤字が生じない場合は「―」(該当なし)で表示しています。

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率※1
普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率 早期健全化基準: 13.70%~ 財政再生基準: 20%~	すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率 早期健全化基準: 18.70%~ 財政再生基準: 30%~	借金の返済額などの大きさから資金繰りの危険度をみる比率 早期健全化基準: 25%~ 財政再生基準: 35%~	町の負債の残高から将来の財政への圧迫度をみる比率 早期健全化基準: 350%~	企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率 経営健全化基準: 20%~
― (―) ※2	― (―)	7.7% (8.8%)	― (―)	― (―)

早期健全化基準: 財政運営について、自主的に改善努力をする必要がある基準
財政再生基準: 財政運営について、国の関与が必要となってくる基準

※1 水道、下水道、病院の各事業会計が対象
※2 () は、前年度の数値



第81代大関
黒田 和行・東山 明雄 組
(天友組)



第80代大関
山澤 強志・平木 賢一 組
(仏木組)



第85代大関
丸山 真希男・宅田 欣央 組
(富木神幸太鼓)



第84代大関
中泉 貴臣・篠原 裕幸 組
(志賀豊年力太鼓保存会)



第90回県下太鼓打競技大会 第8回横綱大会

9/15 (月)祝

小浜神社境内 (高浜町)

世代・性別を越えて愛され、志賀町に根付く県内最古の太鼓打競技大会。
毎年歴史を刻む本大会。今年は横綱大会も13年振りに開催され、
次世代へとつなぐリーダーとして、新たな横綱が誕生しました。



大勢の観客が横綱誕生の瞬間を見守る

第90回県下太鼓打競技大会の準決勝と決勝の合間に、過去10大会(第80回〜第89回)の歴代大関が出場する「第8回横綱大会」が開催されました。

これは、大関となった打ち手のみが立つことを許される伝統の大会で、今回は9組の歴代大関が出場し、2分30秒の一回勝負に挑みました。強弱を付けて打ち込む大バイと正確なリズムを刻む小バイの2人が息を揃え、迫力ある打ち込みを披露し、会場は熱気に包まれました。



第 82 代大関
屋敷 和正・中棚 祥一郎 組
(富木八幡太鼓保存会)



第 86 代大関
舟山 紳也・河野 利明 組
(志賀豊年力太鼓保存会徳田組)



【第 8 回横綱大会出場 歴代大関】

※令和 2 ～ 4 年は、新型コロナウイルス感染症の影響で大会の実施なし。

受賞年	歴代大関	大バイ	小バイ	団体名	受賞年	歴代大関	大バイ	小バイ	団体名
平成24年	第80代	山澤 強志	平木 賢一	仏木組(志賀町)	平成29年	第85代	丸山 真希男	宅田 欣央	富木神幸太鼓(志賀町)
平成25年	第81代	黒田 和行	東山 明雄	天友組(志賀町)	平成30年	第86代	舟山 紳也	河野 利明	志賀豊年力太鼓保存会徳田組(志賀町)
平成26年	第82代	屋敷 和正	中棚 祥一郎	富木八幡太鼓保存会(志賀町)	令和元年	第87代	堀 隼人	小畑 賢斗	鵜浦豊年太鼓(七尾市)
平成27年	第83代	森田 浩一	寅松 和也	大田陣太鼓(七尾市)	令和 5 年	第88代	竹田 直也	楠 尚樹	石崎豊年太鼓(七尾市)
平成28年	第84代	中泉 貴臣	篠原 裕幸	志賀豊年力太鼓保存会(志賀町)	令和 6 年	第89代	端 茂樹	杉木 正志	外雷太鼓(七尾市)

栄冠は、舟山・河野組（志賀豊年力太鼓保存会徳田組）の手に



横綱の法被を手にする舟山・河野組



大会の審査員資格認定証を渡される横綱

その結果、第 86 代大関の舟山紳也・河野利明組（志賀豊年力太鼓保存会徳田組）が、見事第 8 代横綱の栄冠を手にし、長い歴史に新たな名を刻みました。横綱に選ばれた 2 人は、今後大会の審査員を務める資格を得ました。

（第 90 回県下太鼓打競技大会の結果は、20 ページに掲載）